



グリーンと暮らせば owner gardener's life



巡ってくる季節が待ち遠しい——。
そんな「身近な花と緑の世界」。
スウェーデンハウスオーナーでもある
プロガーデナーが、ご案内します。



暮らしに溶け込む 花のある豊かな時間

花や緑はそこにあるだけで、いつもの暮らしに彩りを加え、心を豊かにしてくれます。中でもバラは特別な存在…という方も少なくないのではないのでしょうか。

バラは種類によって見た目や香りだけでなく、育て方も違うので難しい部分もありますが、だからこそ!? 窓越しに庭のバラを眺めるのは私にとって至福の時間です。

今回は有機栽培で育てている我が家のバラの、ちょっとした楽しみ方をご紹介します。バラに限らずお庭に咲いた花はもちろん、花屋さんの花でも試していただきたい、花のある時間。心ゆくまで楽しんでみませんか。

フェンスに沿わせて、道行く人にも香りをお裾分け。



開いて落ちてしまいそうな花は、水に浮かべてみて。



秋にできた実でリースにも。



無農薬で育てた花ならば、お風呂に入れて優雅な香りに包まれるひと時も。



お皿に添えるだけで、いつものティータイムがぐっと華やかに。

<有機栽培のコツ>

- いい土で育てると、病気が発生しにくくなるので、有機肥料を使って土をつくる。
※肥料のあげ過ぎにも注意。

- 病気になりにくい品種を選ぶ。

- 陽当たりがいい場所に植える。
(品種によってやや日陰を好むものもあるので確認を)

- 葉が込みすぎないようにする。

- 安全なもので病害虫対策。焼酎にドクダミ、ニンニク、生姜、唐辛子を数ヶ月漬け込むと自家製の漢方薬になり、薄めて散布すると、虫や病気(ウドンコ病など)が発生しにくくなる。アブラムシにはタバスコ1本に対し、水5ℓで薄めたものを散布(様子を見ながら濃度は調節)。
※数時間は強い臭いが残るので注意。

- 黄金虫、カミキリ虫のような大きい虫は、捕殺する。

※病気が発生したら園芸店に相談を。状態によって、薬が必要な場合も。薬を使う場合は、全体に散布するのではなく病気が発生している部分だけ処置を施す。